



彫刻家桑山さんの
「触れる」作品展

葵区

日展会員の彫刻家桑山賢行さん(71)が神奈川県川崎市で展開する、作品に触れることを推奨する個展「心で観(み)る彫刻展」(NPO法人県補助犬支援センター主催)が7日、静岡市葵区の市役所市民ギャラリーで開幕した。14日まで。

窓や道をモチーフ

作品に触れながら技法や制作当時の心境を語る桑山さん。静岡市役所市民ギャラリー

に、桑山さんが同様の企画展を始めた1992年から2018年までの16点を

出品した。木やブロンズ、金属など多様な素材の特質や量感を生かし、風景や人物を情感込めて表現。桑山さんは「手で優しく触り、材料の質感やのみの跡一つ一つを味わってほしい」と話した。

桑山さんが主宰する彫刻グループ「土曜会」会員の作品も展示している。同会場では8月13日の午後1時から、補助犬について学ぶ講座も開く。